

交通情報

市内循環 100 円バス（土手町循環）

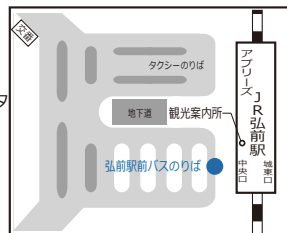
～ 10 分間隔で運行～

4月～11月 10:00～18:00
12月～ 3月 10:00～17:00

「趣のある建物」散策モデルコースの起点（終点）までは、土手町循環 100 円バスがご利用になれます。

●運行コース

バスターミナル ▶ 弘前駅前 ▶ 大町一丁目 ▶ 大町二丁目 ▶ 上土手町 ▶ 市立病院前 ▶ 土手町十字 ▶ 青銀土手町支店 ▶ 中土手町 ▶ 蓬莱橋 ▶ 下土手町 ▶ 本町 ▶ 大学病院前 ▶ 市役所前 ▶ 陸奥新報社前 ▶ 文化センター前 ▶ ホテルニューキャッスル前 ▶ 徒町 ▶ 中央通り二丁目 ▶ 並木通りバスターミナル前 ▶ ヒロコ前 ▶ 弘前駅前（降車のみ）▶ **バスターミナル**



■ お問い合わせ 弘前バスターミナル（5:30～19:00）
0172-36-5061

サイクルネット（観光用有料貸自転車）

普通自転車 500 円/回
電動自転車 1,000 円/回
クロスバイク 3,000 円/回

簡単な受付票の記入でご利用になれます。貸出、返却ステーションが異なっても大丈夫です。

（電動自転車の貸出・返却は①弘前市立観光館、②弘前市観光案内所のみ）

（クロスバイクの貸出・返却は①弘前市立観光館のみ）

※雨天・荒天時は中止の場合があります。詳細は弘前観光コンベンション協会へご確認ください。

● 受付時間 9:00～16:00

● 返却期限 当日 17:00

● 貸出場所

4月初旬～弘前さくらまつり前日（予定）

①弘前市立観光館 ②弘前市観光案内所 ③まちなか情報センター

弘前さくらまつり期間（予定）※普通自転車のみ貸出

J R弘前駅前特設デント 弘前市立観光館 まちなか情報センター

弘前さくらまつり終了後～11月末（予定）

①弘前市立観光館 ②弘前市観光案内所 ③津軽藩ねぶた村

④まちなか情報センター ⑤りんご公園



※2023年3月時点の内容です。

■ お問い合わせ（公社）弘前観光コンベンション協会 0172-37-5501

弘南鉄道（大鰐線） 中央弘前駅～弘高下駅

運賃 210 円

「趣のある建物」散策モデルコース（松森町・富田町界隈）

では、弘南鉄道の鰐線がご利用になれます。また、車窓からの風景もあわせてお楽しみください。



■ お問い合わせ 弘南鉄道株式会社
0172-44-3136（本社）

※店舗など営業している建物以外の建物（敷地）内への立ち入りはご遠慮ください。
また、近隣のご迷惑にならないようにお願いします。

発行：弘前市（都市計画課）

〒036-8551 弘前市大字上白銀町 1-1

T E L : 0172-34-3219（直通）

F A X : 0172-35-3765

E-mail : toshiikeikaku@city.hirosaki.lg.jp

http : //www.city.hirosaki.aomori.jp/

あomorナビ（青森県観光・交通情報案内アプリ）

★青森県内の公共交通の情報を網羅し、地図上で各バス停、各駅の時刻表やルートを検索できます。



iOS 版 Android 版
QRコードを読み取ってダウンロードページへ

ひろさき公共交通マップ

弘前市の鉄道路線やバス路線のルート情報をわかりやすく掲載しています。



QRコードから市のホームページへ

2023年3月版

趣のある建物



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん



弘前
散策

PR 動画の紹介

弘前市のホームページおよびシティプロモーションサイトから趣のある建物や歴史的建造物の PR 動画を閲覧できます。

— 趣のある建物 —



弘前駅前～
土手町周辺

弘前公園周辺

寺院街とその周辺

弘前を彩った
建築家たち

— 弘前歴史たてもとの探索 —



(a) 世界一長い桜並木



(b) 桜林公園



(c) 弘前公園

弘前公園の桜は、正徳五年（1715年）、弘前藩士が京都から25本の苗木を取り寄せ、城内に植えたのが始まりと言われている。その後、旧藩士の植栽や市民の寄付などにより全国的な桜の名所となる礎が築かれました。
市内には、弘前公園のほかにも、お花見スポットが多く、訪れる人々を魅了しています。

桜



連続した生垣



(f) 通りに建ち並ぶ蔵

農家が米やりんごを貯蔵するために建てられた蔵のある風景は、津軽地方の農業が生んだ特徴的な農村景観のひとつです。近年は、大規模な貯蔵施設に、その役割を引き継ぎ、多くはひっそりと佇んでいます。
小沢梨の木地区では、土蔵が通りに沿いに建ち並び、連続する生垣と相まって魅力的な景観を形成しています。

蔵



(d) 国道7号沿いの桜並木



(e) 大仏公園

散策ガイドマップ（広域図）

おすすめスポット

桜 蔵

102 国道

J R

弘南鉄道

神社

寺

温泉

「趣のある建物」指定制度とは

弘前市には、弘前城をはじめとする歴史的な建造物や、明治・大正期の洋風建築物などの文化財が数多く残されています。また、文化財には指定されていないものの、歴史と文化が息づく情緒豊かな建物も数多く点在しています。

これら弘前の風情を醸し出している古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に発信することで弘前の新たな魅力の発見や、城下町としての興行きを体感してもらうことを目的としています。

● 選定基準：原則として建築後50年を経過し、次のいずれかに該当するもの

- (1) 歴史的な街並みの雰囲気を醸し出しているもの
- (2) 時代の生活文化が感じられるもの
- (3) 由緒・由来のあるもの
- (4) 建築文化を物語る特徴的なもの
- (5) 地域のシンボルとして親しまれているもの
- (6) その他、選定基準に値するもの



表示板

— 弘前市趣のある建物 —
指定件数：37件



散策ガイドマップ（市街地図）

- 弘前の文化財
- 前川國男建築
- おすすめスポット
- ≡ 散策モデルコース
- ♿ 公衆トイレ
- ♿ 100円バス（土手町循環）
- 🚲 サイクルネット
- 🚆 弘南鉄道
- 🚆 J R

市役所・禅林街界限

- 22 旧第八師団長官舎（弘前市長公舎）
スターバックスコーヒー弘前公園前店
☎7:00~21:00 ☎年中無休 tel:0172-39-4051
- 23 旧藤田家別邸
☎9:00~17:00 tel:0172-37-5525
4/10~11/23（冬期間は一部のみ開園）
- 24 酒舗了成豊
☎8:00~18:30 ☎日曜日 tel:0172-32-2529
- 25 茂森会館消防西第一分団
- 26 下山家住宅
- 27 田澤刀物製作所（清水一國）
- 28 加藤味噌醤油醸造元
☎9:00~17:00 ☎日曜日 tel:0172-32-0532
- 29 旧町田家住宅
- 30 木村家住宅
- 31 大阪屋
☎8:30~17:30 tel:0172-32-6191
- 32 御料理 なる海
☎11:30~14:30 / 18:00~21:30
☎日曜日・第3月曜日・祝日の月曜日 tel:0172-35-0081
- 📍 追手門広場からの弘前市庁舎
- 📍 藤田記念庭園
- 📍 城西大橋からの岩木山
- 📍 禅林街（国指定史跡）
- 📍 加藤坂（通称）

弘前公園界限

- 11 カトリック弘前教会
- 12 翠明荘（旧高谷家別邸）
B.A.Msalon Vintage premium
☎9:30~18:00 ☎月曜日 tel:0172-35-1214
- 13 石場旅館
tel:0172-32-9118
- 14 旧杉山醫院
Interior & craft shop PPP
☎11:00~18:00 ☎火曜日 Web:https://www.ppp-interior.jp
- 15 竹田家住宅
- 16 津軽藩ねぶた村（蔵）
☎9:00~17:00 ☎年中無休 tel:0172-39-1511
- 17 川崎染工場
☎9:00~17:00（11月~3月は16:00迄） ☎木曜日 tel:0172-35-6552
- 18 山口製菓所
- 19 旧弘前市消防団西地区団第四分団消防屯所
- 20 工藤家住宅
- 21 株式会社松緑酒造
tel:0172-34-2233
- 📍 外濠と岩木山（津軽藩ねぶた村前）
- 📍 仲町重要伝統的建造物群保存地区
- 📍 紺屋町の町並み
- 📍 春陽橋からの西濠
- 📍 弘前城本丸からの岩木山
- 📍 杉の大橋からの中濠
- 📍 西濠周辺

弘前駅・土手町界限

- 01 保村打刀製作所
- 02 小野金商店
☎11:00~18:00 金・土・日のみ営業（1~3月は日のみ営業）
- 03 一戸時計店
中土手町商店街振興組合事務局
☎10:00~18:00 ☎土曜日・日曜日・祝日 tel:0172-33-7001
Web:https://nakadote.com/
- 04 開雲堂
☎9:30~17:30 ☎火曜日 tel:0172-32-2354
- 05 名曲&珈琲ひまわり
☎11:00~18:00（変動あり） ☎木曜日 tel:0172-35-4051
- 06 三上ビル（旧弘前無尽社屋）
- 07 高砂そば
☎11:00~17:00
☎月曜日（月曜祝日の場合は翌日） tel:0172-32-8025
- 08 小堀旅館
tel:32-5111
- 09 平野
☎11:00~21:00 ☎月曜日 tel:0172-35-4343
- 10 鎌田屋商店（蔵）
☎9:00~17:00 ☎日曜日 tel:0172-39-1000
- 📍 北大通り（ラベンダー通り）
- 📍 蓬莱橋からの最勝院五重塔
- 📍 かくみ小路
- 📍 鍛冶町からの最勝院五重塔
- 📍 辻坂上
- 📍 弘前れんが倉庫美術館

松森町・富田町界限

- 33 よしや質店
☎9:00~19:00 ☎日曜日・祝日 tel:0172-32-1636
- 34 千葉家住宅
- 35 有限会社 高木静一商店
☎8:00~17:00 ☎日曜日・祝日 tel:0172-32-6491
- 36 弘前銘醸煉瓦倉庫
- 37 旧制弘前高等学校校外人教師館
弘大カフェ 成田専蔵咖啡店
☎10:00~18:00
☎月曜日（月曜祝日の場合は営業） tel:0172-55-5797

- 📍 弘前銘醸煉瓦倉庫と小道
- 📍 線路沿いの風景



01 保村打刃物製作所
 [代官町 68-2 昭和 38 年建築]
 旧羽州街道沿いにある煙突が特徴的な建物。さびない牛刀包丁などを製作する津軽打刃物職人の店です。



02 小野金商店
 [北瓦ヶ町 6 昭和 3 年建築]
 窓の縦格子が特徴的な、昭和初期のたたずまいを残しているわら工芸品店だった建物です。現在は猫をモチーフにしたハンドメイド雑貨を販売しています。



03 一戸時計店
 [土手町 87 明治 32 年建築]
 開業当時の円錐屋根の時計台は、現在でも土手町のシンボルとして親しまれ、中土手町商店街振興組合の事務所として活用されています。



04 開雲堂
 [土手町 83 昭和 4 年建築]
 銅板の外壁が看板建築の特徴を残す老舗和菓子店。津軽藩の旗印で市章にもなっている卍をかたどった最中が名物です。



05 名曲&珈琲ひまわり
 [坂本町 2 昭和 34 年建築]
 昭和 34 年の建築以来、外観や内装などがほぼ当時のまま。絵画展やコンサートが開かれるなど、弘前の文化の発信地にもなっている喫茶店です。



06 三上ビル（旧弘前無尽社屋）
 [元寺町 9 昭和 2 年建築]
 登録有形文化財。東北でも初期の鉄筋コンクリート造の建物。アールデコ調のデザインが洒落た社屋ビルです。

市 の玄関口である JR 弘前駅中央口を出発します。

大正十二年、東北初となる百貨店もあった土手町を通り、旧第五十九銀行本店本館に向かいます。そのあと最勝院五重塔、弘前れんが倉庫美術館など様々な年代の建物を見ながら土手町の 100 円バスルートにもどるコースです。

所要時間：約 1 時間 17 分



● 最勝院五重塔(重要文化財)



● 百石町展示館(市指定文化財)

弘前駅・土手町界隈

散策モデルコース



01 北大通り (ラベンダー通り)



02 蓬萊橋からの ● 最勝院五重塔



03 かくみ小路



04 鍛冶町からの ● 最勝院五重塔



05 辻坂上

06 弘前れんが倉庫美術館



07 高砂そば
 [親方町 1-2 昭和 48 年建築]
 歴史を感じさせる門構えの老舗蕎麦屋。棟方志功も帰郷の際にはよく訪れました。



08 小堀旅館
 [本町 89 昭和 3 年建築]
 入母屋の大屋根と高い軒高が特徴的な建物。建物内の土蔵や暖簾など、歴史を感じさせてくれる老舗旅館です。



09 平野
 [徒御川端町 7 大正期建築]
 土淵川沿いにたたずむ門構えが目を引く建物。大正時代に民家として建てられた建物ですが、昭和 30 年から割烹として営業されています。



10 鎌田屋商店 (蔵)
 [和徳町 3-1 昭和 10 年建築]
 大正 8 年創業の海鮮物問屋の老舗。土淵川沿いに建つ蔵は、現在では事務所兼倉庫として活用されています。





11 カトリック弘前教会
 [百石町小路 20 明治 43 年建築]
 堀江佐吉の弟、横山常吉が施工した尖塔をもつロマネスク様式の木造建築。神の救いの歴史を表現したステンドグラスが美しい彩を添えています。



12 翠明荘 (旧高谷家別邸)
 [元寺町 69 昭和 8 年建築]
 登録有形文化財。青森銀行頭取を務めた高谷英城の別邸。総檜・入り母屋造りの建物のほか、洋館は旧帝国ホテル「ライト館」風の建物となっています。



13 石場旅館
 [元寺町 55 明治 12 年建築]
 登録有形文化財。黒塗りの付け梁と白い漆喰壁が、城下町弘前の風情を醸し出している老舗の旅館です。



14 旧杉山醫院
 [百石町小路 3 明治期建築]
 明治期に建てられた母屋に、昭和 20 年代に増築された医院部分とともに創業当時の姿がよく残されている建物です。現在は和の建物を生かした北欧家具店として活用されています。



15 竹田家住宅
 [下白銀町 15 明治中頃建築]
 江戸時代に同地にあったとされる武家住宅の形式を受け継いでいる古色を残した建物です。

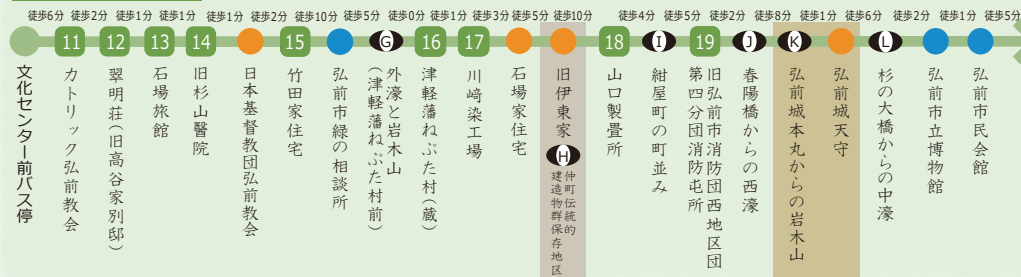


16 津軽藩ねぶた村 (蔵)
 [亀甲町 61 慶応元年 (1865 年) 建築]
 藩の米蔵として建てられ、後に小学校の校舎や味噌蔵としても活用された土蔵は、現在では津軽塗やごん刺し、弘前こけし、津軽焼、津軽凧など弘前の民芸品の工房として活用されています。

弘

前公園にほど近い文化センター前バス停から出発します。弘前公園周辺の洋風建築と和風建築を見ながら伝建地区を目指し弘前公園の外堀を歩きます。武家屋敷の町割りを通り弘前公園に入り、本丸から岩木山を堪能したあと前川建築を見て 100 円バスのルートにもどるコースです。

所要時間: 約 1 時間 21 分



仲町伝統的建造物群保存地区

弘前城本丸からの岩木山



弘前公園界隈



春陽橋からの西濠

外濠と岩木山 (津軽藩ねぶた村前)



杉の大橋からの中濠

西濠周辺



石場家住宅 (重要文化財)



石場旅館と日本基督教団弘前教会 (県重宝)

紺屋町の町並み



17 川崎染工場
 [亀甲町 63 1800 年頃建築]
 寛政時代に創業した天然藍染めの染物屋。藩政時代の風情を醸し出しています。



18 山口製畳所
 [紺屋町 77 明治期建築]
 正面のこみせや、店の奥にある蔵をつなぐ通り土間など、今では少なくなった町屋の形式が残っています。



19 旧弘前市消防団西地区団第四分団消防屯所
 [紺屋町 2 - 2 昭和 8 年頃建築]
 高さ 14.3 m の火の見櫓がある洋風の外観が洒落た建物。当時の名士の寄付により建築されました。



20 工藤家住宅
 [五十石町 30 江戸期建築]
 枯山水の形式を取り入れた前庭や門構えなどから藩政時代の雰囲気醸し出されています。



21 (株) 松緑酒造
 [駒越町 58 江戸時代後期建築]
 黒板塀とそこから見える松の姿や、煉瓦の煙突がシンボルとなっている造酒屋です。



22 旧第八師団長官舎(弘前市長公舎)
[上白銀町1-1 大正6年建築]
登録有形文化財。堀江佐吉の長男、堀江彦三郎の設計。大正時代の洋風高級住宅を彷彿させる建物です。現在はコーヒーストアとして活用され新たな観光スポットになっています。



23 旧藤田家別邸
[上白銀町8-1 大正10年建築]
登録有形文化財。洋館は、日本商工会議所会頭をつとめた弘前市出身の藤田謙一の別邸。大正ロマン溢れる建物です。



24 酒舗 成豊
[茂森町83 昭和7年建築]
禅林街の門前町、また相馬・目屋地区の街道沿いの町家。当時を感じさせる建物で、地酒も多く取り扱う老舗の酒店です。



25 茂森会館消防西第一分団
[西茂森1丁目1 昭和11年建築]
禅林街入口の枋形に位置し、望楼付きの洋風デザインが目目を惹く建物です。



26 下山家住宅
[茂森新町3丁目1-3 昭和20年建築]
正面玄関側に切妻型の大きな屋根、白漆喰の妻壁に格子状の梁や束が美しい「吾妻建ち」の特徴を残した建物です。

前

川建築の市役所庁舎前のバス停を出発します。旧第八師団長官舎や旧藤田家別邸などを見ながら茂森町を通り、禅林街へ向かいます。途中、城西大橋から岩木山の全景が眺められます。津軽家菩提寺の長勝寺、前川建築や新寺町寺院街などとともに弘前公園南側の洋風建築と和風建築を見ながら100円バスのルートにもどるコースです。

所要時間: 約1時間18分



城西大橋からの岩木山

市役所・禅林街界隈



長勝寺三門(重要文化財)



黒門(市指定文化財)



栄螺堂(市指定文化財)



加藤坂(通称)



禅林街(国指定史跡)

散策モデルコース



追手門広場からの弘前市庁舎

藤田記念庭園



27 田澤刃物製作所(清水一國)
[茂森新町2丁目3-11 昭和5年建築]
レトロな親子煙突が特徴的な建物。「清水一國」印のりんご剪定鋏は、全国の果樹生産者に愛用されている津軽打刃物店です。



28 加藤味噌醤油醸造元
[新寺町153 明治4年建築]
創業当時のたたずまいを残した建物。ここでは昔ながらの製法で津軽の味噌と醤油の味が守り続けられています。加藤坂(通称)からの風景は、どこか懐かしさを感じられます。



29 旧町田家住宅
[新寺町129 明治末期建築]
明治時代の旧商家。寺院街の町並みに溶け込んで落ち着いた雰囲気を感じさせています。



30 木村家住宅
[在府町1-1 江戸期建築]
藩政時代に上級武士が多く住んでいた在府町にある建物。薬医門、黒板塀、坪庭などの屋敷構えから家格の高い屋敷であったことがうかがえます。



31 大阪屋
[本町20 昭和28年頃建築]
寛永7年(1630年)創業の老舗の和菓子店。津軽藩の御用菓子司として代々受け継ぎ、現在は13代目です。



32 御料理 なる海
[本町34 天保4年(1833年)建築]
質屋として建築された蔵は、明治時代には銀行の金庫蔵として活用され、現在では、人気の懐石料理店となっています。



33 よしや質店
[松森町 29 明治期建築]
幅 4 尺のごみせ、店先と 2 階の格子、暖簾が一体となって、歴史ある街道沿いの趣を醸し出している質店です。



34 千葉家住宅
[椿町 1-5 昭和 3 年建築]
切妻屋根、正面にはごみせが設けられているなど、町屋の形式が残る建物。近年まで「ごうじ屋」と呼ばれ、漬物用の麹などを販売していました。



35 有限会社(農)高木静一商店
[松森町 158 昭和 4 年建築]
金文字看板が老舗の風格と趣を添えている肥料・農薬店。漆喰の天井や観音開きの窓など、昭和のまま時の流れが止まったようなたたずまいを見せている建物です。



36 弘前銘醸煉瓦倉庫
[富田 3 丁目 7-1 大正 7 年建築]
酒蔵として建築された赤煉瓦倉庫で、当初あった 8 棟のうち 4 棟は今なお倉庫として使用されています。春には、隣接する弘前大学の桜並木と美しいコントラストを見せてくれます。



37 旧制弘前高等学校外国人教師館
[文京町 1 大正 14 年建築]
登録有形文化財。煉瓦積み基礎、窓、外壁などに洋風建築の意匠が多く取り入れられている建物です。現在は大学生や地域の人が気軽に立ち寄れるカフェとなっています。

上 土手町のバス停から出発し、松森町方面へと向かいます。ごみせ造りの質屋の前を通り、松森町交差点から弘前大学方面へと向かいます。弘前銘醸煉瓦倉庫と太宰治も訪ねたと言われる旧制弘前高等学校外国人教師館を見た後、弘高下駅から弘南鉄道に乗ります。五重塔など車窓からの風景を楽しんでいるうちに、中央弘前駅へ到着するコースです。



松森町・富田町界隈



改札の向こうに見える ● 最勝院五重塔 (中央弘前駅)

● 太宰治が下宿した「まなびの家」(市指定文化財)



中央弘前駅前の ● 弘前昇天教会



● 旧弘前銀行社 (重要文化財)



● 弘前銘醸煉瓦倉庫と小道

線路沿いの風景



景観重要建造物とは

弘前市は「趣のある建物」をはじめとした和風建築や洋風建築、近代建築など歴史の奥深さや新しいものを積極的に取り入れてきた弘前市民の気質を感じさせる建物が、地域の良好な景観を形成しています。

市ではこれらの建物を景観法の規定に基づく景観重要建造物に指定し、適正な管理や改修費の助成等により保全を図り、弘前ならではの良好な景観づくりを目指しております。

景観重要建造物白
石場旅館

一景観重要建造物一指定件数: 14 件 (2023 年 3 月現在)



● 旧第八師団長官舎 (弘前市長公舎)



● 石場旅館



● 旧町田家住宅



● 旧制弘前高等学校外国人教師館



● 三上ビル (旧弘前無尽社屋)



● 旧藤田家別邸
洋館、和館、倉庫 (考古館)、冠木門及び両袖番屋



● 翠明荘 (旧高谷家別邸)
旧洋館、新洋館、日本館、奥座敷、土蔵、門、四阿、塙、中庭廊下 (中庭を含む)

● 弘前市斎場
● 弘前市緑の相談所

● 弘前中央高校講堂
● 開雲堂

● 弘前市庁舎

● 弘前市民会館

● 弘前市立博物館

桜庭 駒五郎



鍛冶職人の三男として生まれた桜庭駒五郎は、日本メ

ソジスト教会初代監督となった本多庸一の教育思想に感化され、教団の社会事業の奉仕活動に積極的に取り組みました。また、熱心なクリスチャン棟梁としても知られ、日本基督教団弘前教会、弘前学院外人宣教師館のほか、日本各地に社会教育施設や宗教施設を遺しています。



上、弘前学院外人宣教師館（重要文化財）



左、日本基督教団弘前教会（県重宝）

その他の洋風建築



左、鏡ヶ丘記念館（県重宝） 中、日本聖公会弘前昇天教会（県重宝） J・M・ガーディナー設計 右、藤田家別邸洋館（登録有形文化財、趣のある建物）

洋館

②



④



③



⑤



1. 旧弘前市立図書館（県重宝）
2. 旧第五十九銀行本店本館（重要文化財）
3. 旧弘前偕行社（重要文化財）
4. 旧東奥義塾外人教師館（県重宝）
5. カトリック弘前教会（趣のある建物）
堀江佐吉の弟である横山常吉の施工。



①

棟梁 堀江 佐吉



津軽藩のお抱え大工・堀江家の5代目として生まれた堀江佐吉は、函館で洋風建築の基礎を学んだといわれ、その卓越した技能で青森銀行記念館、旧弘前市立図書館、旧弘前偕行社など斬新かつ華麗な洋風建築を数多く手がけました。彼の精神や技能は、弟子達に引き継がれ、教会など多くの洋風建築として、弘前の街に彩りを添えています。

弘前の建物と人物

煉瓦



弘前れんが倉庫美術館



弘前銘醸煉瓦倉庫（趣のある建物）

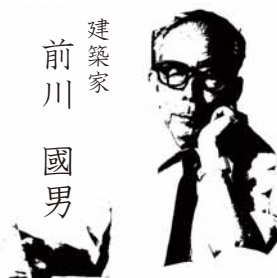


もともと大工であった福島藤助は、酒造りに適した弘前の土地柄と、文明開化という時代の流れに目をつけ、二十六歳で醸造業に転身しました。研究心旺盛な藤助は、季節に関係なくいつでも酒造りができる「四季醸造」という革命的な醸造法を考案し、近代的な設備も備えた煉瓦造りの工場をいくつも建設しました。煉瓦これらの多くは現在でも当時の面影を残し、弘前銘醸や弘前れんが倉庫美術館などに引き継がれ、市民にも愛されています。



醸造家 福島 藤助

建築家 前川 國男



近代建築の巨匠ル・コルビュジエのもとで学んだ前川國男は、パリから帰国後、処女作といわれる「木村産業研究所」を手始めに、「弘前中央高校講堂」や「弘前市庁舎」など、数多くの公共建築を弘前で手がけました。初期から晩年までの8つの作品が残る前川建築巡りは、日本の近代建築の歩みを辿ることにもなります。



③



⑤



⑥



①



④



⑦



⑧

1. 木村産業研究所（重要文化財）
2. 弘前中央高校講堂※
3. 弘前市庁舎（登録有形文化財）※
4. 弘前市民会館※
5. 旧弘前市立病院
6. 弘前市立博物館※
7. 弘前市緑の相談所※
8. 弘前市斎場※

※景観重要建造物に指定されています。